

バンコクにおける MICE について 一般調査報告書

タイ・バンコクには昨年年約 3,030 万人が訪問、世界の訪問都市ランキングにおいて 1 位で、2 位の香港 (2,320 万人) を大きく引き離しています。これにはバンコクの観光都市としての魅力に加え、2000 年代からバンコクが一般の観光旅行者に加え MICE 誘致に力を入れてきたことも要因として考えられます。バンコクでは大規模な展示場、会議場、高級ホテルの整備に加え、MICE 誘致のための専門組織が立ち上げられ、東南アジアの中心に位置する地理的優位性も生かし、多くの国際的な MICE の開催地となってきました。

愛知県においても、昨今愛知県国際展示場 (2019 年度)、IG アリーナ (2025 年度) など大規模 MICE 施設が整備される一方で、今年度はアジア・アジアパラ競技大会、来年度にはアジア開発銀行総会と大型イベントが誘致されており、国際観光都市を目指すうえでの様々な取組が進められています。

そうした中、今後に向けて参考にすべき先進事例として、バンコクにおける MICE について調査・整理しました。

1. 主な MICE 施設とイベント概要

バンコクには様々な MICE 施設がありますが、主要な 3 施設を、それぞれで開催されている代表的なイベントとあわせて取り上げたいと思います。

① IMPACT Muangthong Thai



(愛知県バンコク産業情報センター撮影)

項目	内容
施設名	IMPACT Exhibition and Convention Center
所在地	Popular Rd, Ban Mai, Pak Kret District, Nonthaburi (バンコク北部)
アクセス	ドンムアン空港から車約 15 分／市内中心から約 30 分
施設概要	・敷地:約 140,000 m²以上 ・展示面積:約 140,000 m²(チャレンジャーホール含む) ・ホール:Challenger Hall(3 棟連結 約 20,000 m²×3) ・Impact Exhibition Hall 複数棟 ・会議室多数(数十室規模)
用途	展示会、国際会議、イベント、コンサート
付帯施設	ホテル(Novotel など)、商業施設、レストラン、アリーナ
運営体制	IMPACT Exhibition Management Co., Ltd.
特徴	・東南アジア最大級の展示面積で、数万人規模のイベント開催に対応。 ・「Challenger Hall」は無柱空間となっており、展示会からコンサートまで多用途で利用可能。 ・郊外型の広大な敷地にホテルや商業施設を併設し、滞在型イベントに適した仕様

(主な開催イベント)

イベント名	主催者	来場者数	開催時期	概要
Bangkok International Motor Show	Grand Prix International	約 150 万人規模	3～4 月頃	春に開催されるタイ最大級の自動車展示会で、新車発表や試乗体験を行う一般参加型イベント
THAIFEX – Anuga Asia	商務省貿易振興局、タイ商工会議所、ケルンメッセ	約 14 万～16 万人	5 月頃	ASEAN 最大級の食品見本市で、国際的な BtoB 商談の場
Cosmopr of CBE ASEAN	BolognaFiere、Informa Markets	約 2 万～3 万人	6 月頃	美容・化粧品分野の国際展示会で、ASEAN 市場向けのビジネス交流
Thailand International Motor Expo	Inter-Media Consultant	約 150 万人規模	11～12 月頃	年末開催の自動車イベントで、販売促進を重視した一般来場型イベント



THA FEX



THAIFEX



Bangkok International Motor Show
(愛知県バンコク産業情報センター撮影)

Copyright © 2026, Aichi Prefecture.
All rights reserved.

② BITEC (Bangkok International Trade and Exhibition Center)



(愛知県バンコク産業情報センター撮影)

項目	内容
施設名	BITEC (Bangkok International Trade & Exhibition Centre)
所在地	88 Bang Na-Trad Road, Bang Na, Bangkok
アクセス	BTS Bang Na 駅直結(市内からアクセス良好)
施設概要	・総展示面積: 約 70,000 m²以上 ・ホール: EH1～EH10(各数千～10,000 m²規模) ・会議室: 約 50 室以上 ・多目的ホール・バンケットあり
用途	国際展示会、会議、ビジネスイベント、見本市
付帯施設	ホテル、レストラン、商業施設、オフィス
運営体制	BHIRAJ BURI GROUP
特徴	・BTS 駅直結でアクセス性がよい、都市型の MICE 施設。 ・展示スペースと会議室がコンパクトにまとまり、効率的なイベント運営が可能 ・製造業や IT 系などの産業展示会が多い。

(主な開催イベント)

イベント名	主催者	来場者数	開催時期	概要
SUBCON Thailand	BOI(タイ投資委員会)、Informa Markets	約 1 万～2 万人	5 月頃	自動車・電機などの部品調達を目的とした BtoB マッチング型展示会
Manufacturing Expo	RX Tradex	約 8 万～10 万人	6 月頃	製造業全般の技術・設備を扱う総合展示会で、複数の専門展が同時開催される
ASEAN Sustainable Energy Week	Informa Markets	約 2 万～3 万人	7 月頃	再生可能エネルギーや省エネ分野の展示会
Medical Fair Thailand	Messe Düsseldorf Asia	約 1 万人	9 月頃(隔年)	医療機器・ヘルスケア分野の国際専門展示会
METALEX	RX Tradex	約 10 万人	11 月頃	工作機械・製造技術の国際展示会で、日系企業も多く参加



Subcon Thailand



Manufacturing EXPO

(愛知県バンコク産業情報センター撮影)

③ QSNCC (Queen Sirikit National Convention Center)



(愛知県バンコク産業情報センター撮影)

項目	内容
施設名	Queen Sirikit National Convention Center (QSNCC)
所在地	Ratchadaphisek Rd, Khlong Toei, Bangkok
アクセス	MRT Queen Sirikit 駅直結
施設概要	・延床面積: 約 300,000 m² (再開発後) ・展示スペース: 約 78,000 m² 以上 ・会議室: 100 室以上 ・プレナリー (大ホール) あり
用途	国際会議、展示会、政府イベント、文化イベント
付帯施設	商業施設、飲食、公共空間、展示ギャラリー
運営体制	Thailand Convention & Exhibition Bureau (TCEB) 関係 / 民間運営
特徴	・都心立地で、地下鉄 (MRT) 直結の高いアクセス性を持つ都市型 MICE 施設 ・展示ホールと大規模コンベンションホール (Plenary Hall) を中心に、国際会議・政府主催イベントにも対応可能な高機能施設 ・医療、エネルギー、政府系フォーラム、国際サミットなど、政策・国際会議系イベントの比重が高い

(主な開催イベント)

イベント名	主催者	来場者数	開催時期	概要
Thailand International Book Fair	PUBAT (出版協会)	約 100 万人	3 月頃	書籍販売・出版展示を中心とした大規模一般向けイベント
APEC (アジア太平洋経済協力会議)	各国政府・APEC 事務局	数千人規模	不定期	首脳級会合を含む国際会議で、経済・外交に関する政策協議が行われる
ASEAN Summit 関連会議	ASEAN / 各国政府	数千人規模	不定期	東南アジア諸国の首脳・政府関係者が参加する国際会議
国際学会・医療会議	各国学会・国際機関	数千～1 万人規模	通年	医療・科学分野の専門家による学術会議

2. タイにおける MICE 支援策

タイ政府は 2002 年に MICE 推進機関「TCEB (Thailand Convention and Exhibition Bureau)」を設立し、国としてビジネスイベントを戦略産業として育成するとともに、MICE 誘致を促進してきました。同組織は政府主導のワンストップ支援機関として、国際会議・展示会・企業イベントの誘致と開催支援を行っています。

TCEB は事業方針として「MaxiMICE Thailand」を掲げ、アジア有数の MICE 拠点となることを目指し、国際プロモーションの強化に加え、近年では持続可能性（サステナビリティ）や高付加価値イベントの誘致にも重点を置いています。

TCEB が行っている主な優遇策の概要は以下のとおりです。

A. Meeting・Incentive 向け

施策	概要	支援内容・金額例
Ease Up	企業会議・インセンティブ旅行誘致のための基本支援	1 人あたり最大 1,500 バーツの補助、またはイベント単位で最大 30 万バーツ相当の食事・体験提供。さらに空港送迎、ホテル無料追加（有料 20 室で 20 室無料等）など
Fly Meet Shop	CLMV など近隣国向け誘致施策で、航空・商業施設と連携した支援	航空会社との提携による運賃優遇、ショッピング特典（百貨店割引等）、空港サービス、現地体験プログラムを提供。移動・消費コストの一部を実質補助
MaxiMICE	大型案件向けの統合支援（現在の主軸）。	補助金（個別査定）、空港優先レーン、政府調整、文化プログラム等を提供。例として、数百人規模以上のイベントで数十万～数百万バーツ規模の支援が行われるケースもあり

B. 展示会（Exhibition）向け

施策	概要	支援内容・金額例
ASEAN+6 Privilege	ASEAN＋主要国からの出展者・バイヤー誘致制度	宿泊・現地移動・商談機会提供などを補助。最低 10 名以上・商談 30 件など条件付きで、出展者の滞在費・マッチング費用を間接支援
Bidding Fund Programme	国際展示会の新規誘致を支援する制度	開催前の誘致活動（営業・プロモーション等）に対し、数十万～数百万バーツ規模の資金支援
EXHIBIZ in Market	海外市場からの出展者誘致・マーケティング支援	海外ロードショー開催、出展費補助、ビジネスマッチング支援などを提供。費用はプロモーション一体型で、主催者の海外誘致コストを実質的に軽減

3. まとめ

タイでは、大型 MICE 施設の整備といったハード面の強化に加え、政府主導による各種支援策や優遇制度の拡充など、ソフト面の充実も並行して進められています。また本稿では十分に触れられませんでした。高級ホテルのラインナップも充実しており、首脳級会合や政府関連イベントなどのハイレベルな国際会議にも対応できる受入体制が整備されている点が特徴です。

こうした取組は短期間で実現されたものではなく、2000 年代初頭から国家戦略として MICE 誘致を継続的に推進してきた成果であると考えられます。その積み重ねが、現在のバンコクを「MICE 先進都市」としての地位へと押し上げているのではないのでしょうか。

今回は概要の整理にとどまりましたが、今後もタイにおける MICE 施策の動向について継続的に調査して

いくとともに、その中で得られる知見から、愛知県が国際観光都市として発展していくためのヒントを、先進事例から見出していきたいと考えています。

【参考文献】

IMPACT <https://www.impact.co.th/>

BITEC <https://www.bitec.co.th/>

QSNCC <https://www.qsncc.com/en/>

Bangkok International Motor Show <https://www.motorshow.in.th/>

Thailand International Motor Expo <https://www.motorexpo.co.th/>

THAIFEX <https://thaifex-anuga.com/>

Cosmoprof CBE ASEAN <https://www.cosmoprofcbeasean.com/>

SUBCON Thailand <https://subconthailand.com/>

Manufacturing Expo <https://www.manufacturing-expo.com/>

METALEX <https://www.metalex.co.th/>

ASEAN Sustainable Energy Week <https://www.asew-expo.com/>

Medical Fair Thailand <https://www.medicalfair-thailand.com/>

Thailand International Book Fair <https://pubat.or.th/bkkibf/> [pubat.or.th]

APEC <https://www.apec.org/>

ASEAN Summit <https://asean.org/about-asean/asean-summit/>

TCEB (Thailand Convention & Exhibition Bureau) <https://www.businesseventsthailand.com>

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

愛知県バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。